

■ 《猛暑時は“帽子キャンセル”が多発!?》 脱いだらペタンコ、漂うニオイ、髪の毛の汗…

男性の6割以上が感じる【夏場の“帽子ストレス”】とは？

◎ 【針を使わない薄毛・AGAの新治療「毛髪活性導入」】8月1日(土)よりゴリラクリニックで提供開始



年々“酷暑”化が進む日本の夏。ハンディファンやネッククーラー、冷感スプレー、汗拭きシートほか熱中症や暑さ対策グッズが多様化する中、かつては珍しかった「日傘をさす男性」の姿も今や通勤風景など街中で当たり前に見かけるようになりました。夏の紫外線・暑さ対策が進化する一方で、従来の定番であった【帽子を被って頭部を守る】という意識や習慣はどのような変化が起きているのでしょうか。

そこで、全国23院展開する男性専門の総合美容医療「ゴリラクリニック」（医療法人社団十二会／東京都新宿区、稲見彦彦総院長）では、2026年7月8日の1日間、20～59歳の男性400名を対象に、【夏場の男性の頭髪事情に関する意識調査】を実施しました。調査により「夏に帽子を被ること」が暑さ・日焼け対策の定番として定着している一方で、多くの男性が「髪の毛のボリューム低下」や「頭皮・汗の臭い」といった不安やストレスを抱えているジレンマが浮き彫りになりました。また、対策しているはずが、かえって「頭皮環境への危機感」を強める要因になっている実態も明らかになりました。本調査内では、ゴリラクリニック大阪梅田院院長の船津明史医師が【昨今のAGA治療に関する傾向と見解】を分かりやすく解説いたします。

調査の結果、全体の男性6割（58.8%）が夏の過酷な環境による「自身の頭皮への危機感」を抱えていることが判明。

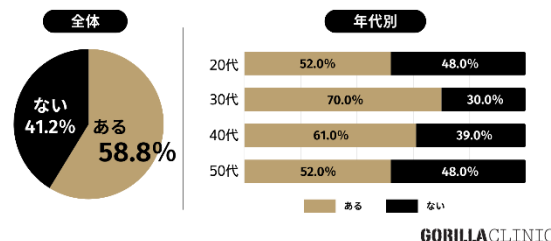
【夏時期に汗をかいて気になる部位】は「頭皮・頭髪（52.8%）」が最多となり、「顔（47.8%）」や「脇（46.3%）」など他人の視界に入りやすい上半身が上位を独占しました。

また、【夏に帽子を被るか】の問いに対し「帽子を被る（58.0%）」男性は全体の6割と多数派である一方、6割以上（63.7%）の男性が「夏時期の帽子着用時にストレスを抱えている」ことが判明。

「帽子」は過酷な夏を凌ぐための必須アイテムでありながら、全年代共通の慢性的な負担となっている現状が浮き彫りになりました。

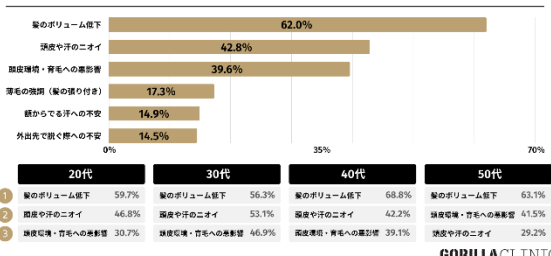
【夏時期、帽子を被るストレスの理由】は年代問わず「髪の毛のボリューム低下（62.0%）」が最多で、次点に「頭皮や汗のニオイ（42.8%）」が続く結果に。自身の暑さが嫌、というよりも、帽子を被ることで臭いや髪がペタンコになる不安など「周囲（他人）からどう見られているか」といったストレスの正体は「他人の視線」。清潔感や見た目を気にする悩みが上位を占めました。

夏時期、自身の頭皮環境への危機感はあるですか？（単一回答）



Q2で「ストレスを感じる」と回答した方へ質問

「帽子を被ること」へストレスを感じる理由は何ですか？（複数回答）



■調査名： 【年代別／「夏時期の男性の頭髪事情」調査】

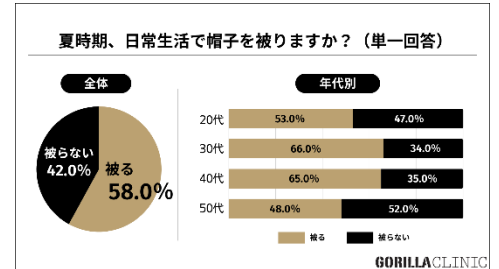
※当データ使用時はクレジット表記【男性専門の総合美容医療『ゴリラクリニック』調べ】を記載ください

- ・調査主：男性専門の総合美容医療「ゴリラクリニック」（医療法人社団十二会／東京都新宿区、総院長：稲見文彦）
- ・調査対象：20～59 歳の男性 400 名
- ・調査期間：2026 年 7 月 8 日の 1 日間（インターネット調査）

◎【調査結果 5 点（概要）】 ※詳細データ数値は別途参照

①：【夏時期に帽子を被るか？】

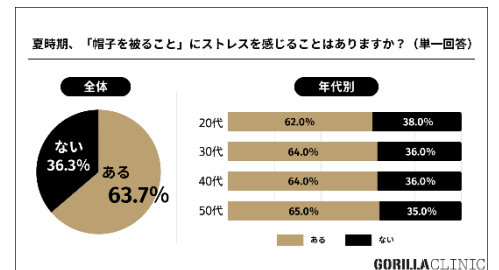
全体では「帽子を被る（58.0%）」が多数派となりました。特に 30 代（66.0%）・40 代（65.0%）の働き盛り世代で着用率が 6 割を超える高い数値を示した一方、50 代では「被らない（52.0%）」が過半数を占めて逆転。熱中症や紫外線への警戒感において、年代間で意識の違いが見られる結果となりました。



②：【全年代の 6 割超が“帽子ストレス”を実感。年齢とともに不快感は右肩上がり】

帽子を被って日差し対策をする人が多い反面、全体で 63.7%の男性が着用時にストレスを抱えていることが判明。この不満は 20 代（62.0%）から 50 代（65.0%）にいたるまで一貫して 6 割を超えており、年代が上がるにつれて緩やかな右肩上がりを記録。

過酷な夏を凌ぐための必須アイテムでありながら、全年代共通の慢性的な負担となっている現状が浮き彫りになりました。



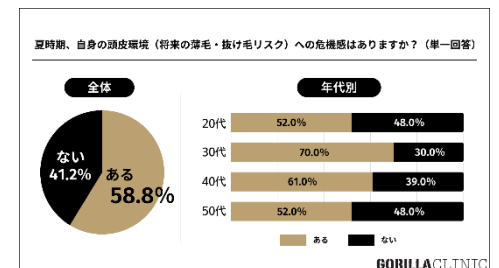
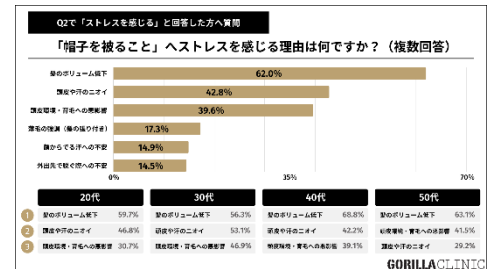
③：【ストレスの正体は「他人の視線」。40 代の約 7 割が悩む髪のペタンコ化とニオイ不安】

帽子を被るストレスの理由は「髪のボリューム低下（62.0%）」が年代問わず最多となり、特に 40 代では 68.8%と突出。次いで「頭皮や汗のニオイ（42.8%）」が続き、自身の暑さより「周囲からどう見られているか」という対人関係での清潔感や見た目を気にする悩みが上位を占めました。

④：【男性の半数以上が夏の頭皮環境に危機感】

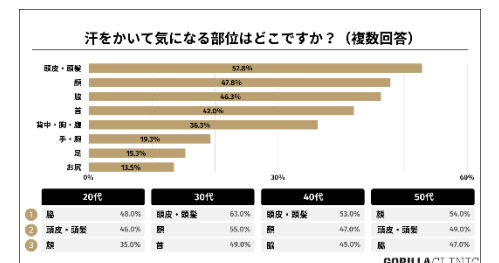
全体の 58.8%が夏の過酷な環境による自身の頭皮への危機感を抱いていることが判明。20 代・50 代（52.0%）に対し、30 代・40 代は 6 割を超えており、中でも 30 代は 7 割に達して最多を記録。

まだ深刻なトラブルが表面化していない段階だからこそ、夏時期のダメージによる将来への影響を恐れ、先回りして不安を抱く若年・ミドル層特有の予防意識の高さが推察されます。



⑤：【汗が気になる部位トップは「頭皮・頭髪」。視線が集まる上半身へ悩みが集中】

汗をかいて気になる部位は「頭皮・頭髪（52.8%）」が最多となり、下半身を大きく上回って「顔（47.8%）」や「脇（46.3%）」など他人の視界に入りやすい上半身が上位を独占。特に 30 代は全部位において気になる割合が高く、中でも「頭皮・頭髪」は 63.0%とダントツの結果に。一方で 50 代のみ「顔（54.0%）」が 1 位となり、年代による関心の変化も垣間見えます。

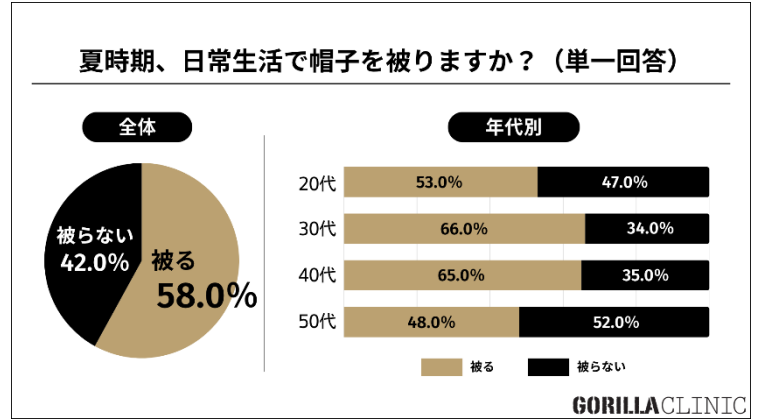


各質問・詳細

① 夏時期の帽子着用率は年代間で異なる傾向に。30代をピークに50代では「被らない派」が多数へと逆転

◎30代（66.0%）・40代（65.0%）は被る人が6割を超え、50代のみ「被らない（52.0%）」が若干数上回る結果に

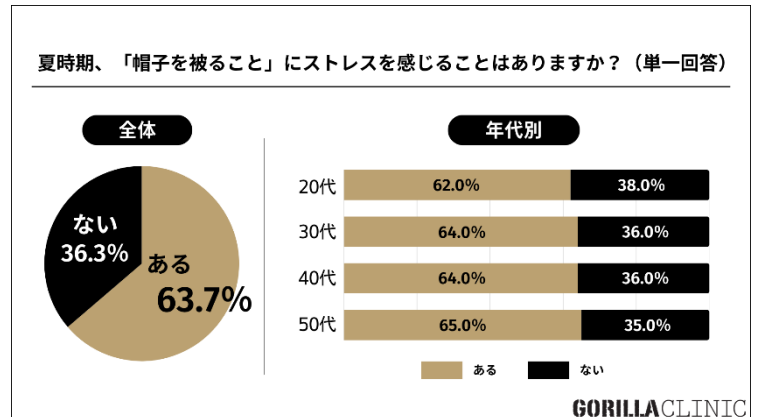
30代・40代を中心に帽子による直射日光対策が根強く支持されている現状。20代でも半数以上が被る一方、50代を境に着用率が半数を下回る実態が判明



② 夏時期の帽子着用、全年代で「6割以上」がストレスを実感。暑さ対策と不快感のジレンマが浮き彫りに

◎【年代別】ほぼ横ばいながらも、年代とともに緩やかな右肩上がりに

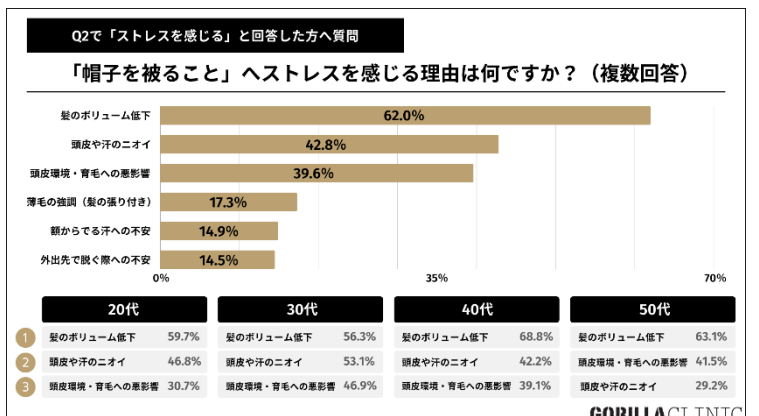
熱中症対策として帽子を取り入れつつも、着用に伴う頭皮の蒸れや髪への影響といったストレスが全年代で慢性化している実態。多くの男性が我慢を強いられながら夏を凌いでいることが判明



③ 帽子ストレスの正体は「他人の視線」。髪のボリュームやニオイなどの周囲の目を気にする悩みが上位に

◎全体で「髪のボリューム低下」が62.0%で最多、次いで「頭皮や汗のニオイ」が42.8%を記録。年代別では40代のボリューム低下への懸念が68.8%に達する結果に

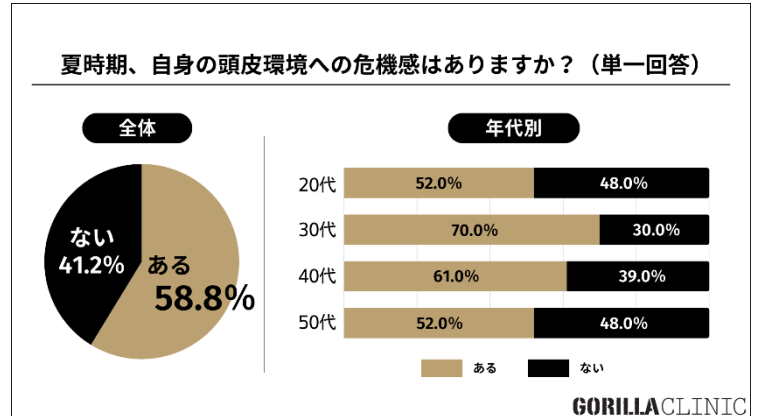
40代が働き盛り世代としての見え方を気にする一方、50代は帽子内部の蒸れによる今後の頭皮環境へのダメージを懸念する傾向。周囲への印象への配慮と、将来に向けた頭皮・毛髪ケア意識の高まりが年代別に浮き彫りに



④ 過酷な夏に頭皮の SOS。年代を問わず半数以上の男性が「自身の頭皮環境」に強い警戒感

◎全体で 58.8%が「危機感を感じている」と回答。年代別では 20 代・50 代に比べ、30 代・40 代の働き盛り世代が 6 割を超えて突出する構図が判明

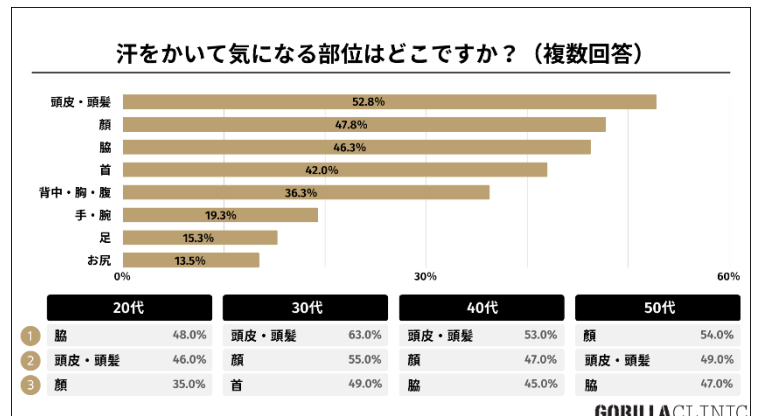
猛暑による汗や帽子の蒸れが深刻化する中、多くの男性が頭皮環境の悪化をリアルに懸念している背景。中でも 30 代の危機感が最も高いことから、早い段階からの頭皮ケアやコンディショニングに対する潜在的ニーズの高さを示唆



⑤ 「頭皮・頭髪」が 5 割超（52.8%）で最多。他人の視界に入りやすい上半身が上位を独占

◎全体で「頭皮・頭髪（52.8%）」がトップ、次いで「顔（47.8%）」と続き、30 代では「頭皮・頭髪」が 63.0%と他年代を圧倒して突出する結果に

脇や首、背中など、周囲からの目線が集中しやすい上半身のパーツほど汗による見た目や清潔感を気にする傾向に。特に 30 代はすべての部位において気になる割合が高く、夏時期の汗対策や頭皮・頭髪のコンディショニングに対する意識が全年代の中で最も高まっている実態が判明



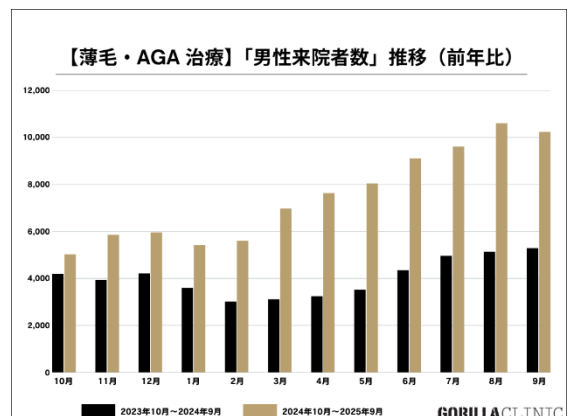
■【昨今の AGA 治療に関する傾向と見解】 ゴリラクリニック大阪梅田院 院長 船津明史医師が解説

最近では、「薄毛や AGA の相談・治療のためにクリニックへ通う＝恥ずかしいこと」ではなくなってきました。同僚や友人間でも治療を行っていることの共有が一般になってきています。

昨今、当院で薄毛・AGA 治療を望まれる方の傾向は、20 代の若年層が全体の過半数を占めるなど、早期の対策を希望される方が多くなっています。そして、こうした若い世代の間では、治療の内容やその成果を SNS 等でオープンに共有する文化が広がりつつあります。

その一方で、治療していることを知人に知られたくないというプライバシー欲求は未だ根強く残っており、同時に副作用への懸念から内服薬に抵抗を持たれる方も少なくありません。

当院では新たにエレクトロポレーション（電気穿孔法）を導入し、内服薬に抵抗がある方でも選びやすい薄毛・AGA 治療を開始する運びとなりました。本治療は医師の管理のもとで行う専門的なアプローチであり、「副作用を避けたい」「周囲に知られずにケアしたい」といった、若い世代を中心に広がる多様なご要望に寄り添うものです。





2026 年 7 月 28 日

『ゴリラクリニック』（03-5291-5270 広報部）

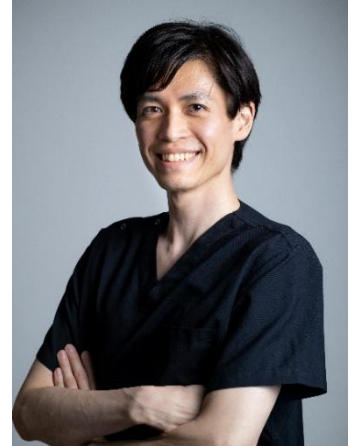
私たちゴリラクリニックでは、これからも患者さまお一人おひとりのライフスタイルや「薬に頼りたくない」という不安に寄り添い、時代に合わせた最適な治療を提供してまいります。

ゴリラクリニック大阪梅田院 院長 船津明史 医師プロフィール

愛知県出身。東海中学・高校卒業。熊本大学医学部を卒業後、国立国際医療研究センター（現国立国際医療センター）にて研修。

研修修了後、「男性がもっと自分らしさを追及できる文化を作りたい」という思いからゴリラクリニックに入職。東海エリア、関西エリア各院の院長を経験し、2025 年 8 月よりゴリラクリニックの脱毛・AGA 施術責任医師に就任、現在に至る。

ゴリラクリニックの西日本エリアを中心に診察から治療を行う。当院の中核をなす「医療脱毛」「薄毛・AGA 治療」という患者さまニーズの高い両施術全体の推進・管理を担当。趣味は読書と散歩。座右の書はアマゾン創設者著の「Invent & Wander」



■2026 年 8 月 1 日より全院で AGA 治療「毛髪活性導入」の提供開始

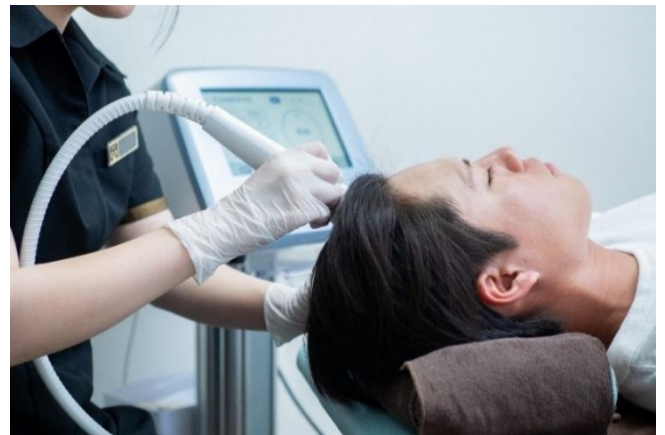
当院では、2026 年 8 月 1 日（土）より新 AGA（男性型脱毛症）治療「毛髪活性導入」の予約・提供を開始いたします。本治療は、特殊な電気パルスを用いて有効成分を頭皮のすみずみに浸透させる「エレクトロポレーション（電気穿孔法）」という医療技術を使用したゴリラクリニックオリジナルの AGA 治療法です。

■【導入の背景】

近年、AGA 治療の選択肢が広がる一方で、「内服薬による副作用への不安」や「注入治療による痛み・出血への恐怖」から、一步を踏み出せない、あるいは従来の治療に満足できていない方が多く存在します。

当院では、そうした方々が痛みや副作用などのリスクを気にせず、安心して治療を始められるよう、有効成分を頭皮へ高浸透させる新しい AGA 治療をこの度開発いたしました。

オンライン診療では受けられない物理的なアプローチでありながら、従来の痛みを伴う注入治療とも異なる「痛みのない高浸透導入治療」をリーズナブルに提供することで、より多くの男性が安心して AGA 治療の第一歩を踏み出せる環境を目指します。



■「毛髪活性導入」の特徴

① 針を使わず、電気パルスで角質層深くまで成分を効率的に届ける高浸透技術

一般的な注入治療とは異なり注射針を使用しないため、施術時の痛みに配慮されている点が特徴です。電気パルスを用いて頭皮の角質層に一時的な透過経路（微小な隙間）を作り出すことで外用薬の塗布では到達しにくかった頭皮の角質層深くへ有効成分を効率的に浸透させます。

② 「ミノキシジル×ハイブリッドペプチド」2つの成分による多角的なアプローチ

発毛を促進する「ミノキシジル」と、頭皮ケアに適した機能性成分である「ハイブリッドペプチド」を組み合わせることで、多面的な頭皮アプローチが可能に。

当院が毛髪の成長環境に着目して厳選した「4 種のハイブリッドペプチド」は、頭皮環境の整備、毛髪のコンディショニング、健やかな毛髪の成長サポートに優れた網羅的なブレンド。これらを同時にしっかり浸透させることで、抜け毛へのアプローチと健やかな発毛サポートを同時に実現し、効率の良い育毛環境を整えます。





2026 年 7 月 28 日

『ゴリラクリニック』(03-5291-5270 広報部)

■「毛髪活性導入」治療詳細 ※保険適用外 of 自由診療

●価格(税込): ※2026 年 7 月現在

トライアル	¥9,800
1 回	¥19,800
3 回	¥53,800
6 回	¥99,800
12 回	¥198,000

●副作用・リスク:

一時的な皮膚の発赤、かゆみ、かぶれ

●対象院:

全国 23 院のゴリラクリニック



■ゴリラクリニック採用サイト 全面リニューアル

2026 年 6 月より、ゴリラクリニックの今と未来を正しく伝えるために、採用サイトを全面刷新いたしました。

◎採用サイト: <https://gorilla.clinic/recruit/>

変化し続ける「ゴリラクリニック」において、スタッフが日々当たり前
に体現している「スピードと施術の質の担保」や、高度な接客力・臨機
応変な対応は、一朝一夕で成せるものではありません。「美容＝華や
か」というイメージだけでは通用しない世界だからこそ、本リニューアル
ではリアルな働き方や現場の本音までを包み隠さず公開しています。

全員で「男性美容を文化に」というミッションと向き合い、日々患者さ
まを支え、未来を切り拓く。そんなキラキラした部分だけではない現実
に共感し、共に長く、熱く働ける【プロフェッショナル】な人材との
出会いを目指した刷新です。

当院はこれからも、志を同じくする仲間とともに男性美容の新たなスタンダードを築いてまいります。



■男性専門の総合美容医療『ゴリラクリニック』(<https://gorilla.clinic/>)

◎診療科目: 美容皮膚科、美容外科、美容整形、頭髪外来

◎初診専用無料ダイヤル: 0120-987-118

◎診療時間: 11:00~20:00 (不定休、予約制)

2014 年 10 月創業。「男性美容を文化に」を使命に掲げ、全国に 23 院を展開
(2026 年 7 月現在)。男性専門の総合美容クリニック(医療機関)と
して医療用レーザーを使用した「永久脱毛」を始め、スキンケア治療や
ニキビ(跡)治療、薄毛・AGA 治療、医療痩身やスメルケアほか多治療
を展開。

2024 年 5 月には「銀座 ANNEX 院」で外科治療メニューの提供を開始

(二重・目の下のたるみ治療)。男性美容に関するありとあらゆる要望を美容医療の力でサポートしている。

また創業当初より細部に至るまで【男性志向】を追求し、男性スタッフも多く採用。どのような悩みに対しても男性が恥
ずかしがることなく相談できるような環境づくりを徹底している。



プレスリリースに関するお問合せやご取材、施術の体験希望は 下記までご連絡ください

広報部: 鈴木 辻 下谷

TEL: 03-5291-5270 MAIL: pr@gorilla.clinic

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 3 階